

(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	酒田地区広域行政組合消防本部
実習期間	平成30年3月4日～平成30年3月8日
学生氏名	齋藤 美玖
実習プログラム	<p>3月4日(月) 1日目</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・消防本部の概要説明</li><li>・予防課、警防課の業務説明、同行</li><li>・事務業務</li><li>・通信指令課の概要説明</li><li>・平田分署の概要説明、放水訓練、応急救護訓練</li></ul> <p>3月5日(火) 2日目</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・消防署の勤務交代、各種車両点検の見学</li><li>・放水訓練、防火服や酸素ボンベの装着体験</li><li>・縄の結び方訓練、救助基本訓練、山岳救助訓練</li></ul> <p>3月6日(水) 3日目</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・西分署の勤務交代、各種車両点検見学</li><li>・救急車資機材説明、操作訓練</li><li>・はしご車訓練</li><li>・トンネルを使った救助訓練</li></ul> <p>3月7日(木) 4日目</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・消防署の勤務交代、各種車両点検見学</li><li>・立ち入り検査訓練、消化器の使用方の説明</li><li>・救急講習(応急救護)</li></ul> <p>3月8日(金) 5日目</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・消防署の勤務交代、各種車両点検見学</li><li>・火災防ぎょ訓練の見学</li><li>・ミーティング見学</li><li>・危険物施設の立ち入り検査の同行</li></ul>

<p>学び・気づき (300字程度)</p>	<p>今回のインターンシップでは、地域の行政機関の役割として、消防署や本部が行っている仕事内容を理解することが一番学びたかったところでした。実際体験してみて、消防署は火災が起きたときにすばやく出動し一人でも多くの命を救うことが一般的なイメージだが、火災を防ぐための地域への呼びかけや、実際に建物に出向き点検を行い危険なところがないのか、予防する事が一番大切だと分かりました。</p>
<p>今後に向けた 抱負 (200字程度)</p>	<p>消防士の人達はみな、慌てず、情報を整理して、計画をたてることが出来たので、自分自身これから大切になっていく力は情報収集力、論理的思考力、課題発見力だと分かりました。それらを鍛えていくために、普段の生活で、具体的な例として、自分で毎日新聞を見るようにし、文章を読む力を鍛え、テレビでは特にニュースを見る回数を多くし、今現在起きている社会の出来事に目をむけ、自分なりの解決策などを頭の中で考えるようにしていきたいです。また部活動では自分がミスしたときに、なぜミスをしてしまったのかきちんと振り返り、問題点をすばやく見つけられるようにすることや、チームのみんなと一緒に目標に向かって練習する「協調性」などを意識して鍛えていきたいと思いました。</p>
<p>インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)</p>	<p>今回のインターンシップを通して、事務的や、地域の防災点検など、事務的な仕事が多く、女性も働き、活躍できることが多くあったと感じました。救助体験をした際も、女性に対しての救助は、女性が行った方が、同じ視点で体の痛みや状況を把握することが出来ると思いました。また、自分は将来、地域に貢献する仕事に就きたいと考えています。消防署は、地域の住民が安心して暮らせるように日々立ち入り検査を行い、消化器の周りに何も置かれていないか、危険物の書類はちゃんと提出されているかなどの点検など、地域住民が安心して安全に暮らせる地域づくりを体験しました。一番地域に密着し、貢献できる仕事だと感じました。</p>
<p>写真 (1~3点)</p>	

## (別紙 12)

大学「人材育成強化科目」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	酒田地区広域行政組合
実習期間	平成31年3月4日 ～ 平成31年3月8日
学生氏名	大津 秀
実習プログラム	1日目 消防本部の見学、説明、平田分署での訓練 2日目 消防署での訓練 3日目 西分署での訓練、体験 4日目 消防署でのシュミレーション、講習 5日目 消防署でのみとり訓練、本署保安課の調査見学
学び・気づき (300字程度)	まず5日間全体での訓練を通して、大事な場面での決断力、問題解決力は実際に経験し訓練や学習を積み重ねていかなければ身につかず、近道はないことを学んだ。また、そのためにはどんなことでも慣れているからと適当にやるのではなく、練習から形式どおりに取り組みその中でも課題を見つけ改善していくことの重要性、素晴らしさに気づくことができました。練習でできないことは本番でもできるわけではなく、練習が1番適当になってはいけないところだということも気付くことができました。
今後に向けた 抱負 (200字程度)	自分に圧倒的に足りないなと思ったのは学習時間でした。消防士になるためにどのくらい勉強したのかという質問をしたら、大学2年くらいからちょこちょこ初めて4年はほぼ毎日ずっとということをしており、正直こんなに努力しなければならぬのかとおどろかされました。自分はまだまだ浅い知識しかないのもっと危機感をもって夢に近づいていかねばと思った。今回、様々なこと経験してみて経験というのはとても良いことであることに気付いた。経験することで知識がより深いものになるし、抱負や課題も見えてきてこれからは繋がり失敗しても次につないでいけたらとプラスにできる。機会は1回しかないものであるかもしれない貴重なものであるのかもしれないから自分が！というように気持ちを改めがんばっていこうと思った。
インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)	同僚や、地域の人との距離が近く、全体的に人柄の良さを感じることができた場面が多かった。ひとつだけの業務に専念してずっとというようなことはなく2、3年ごとの異動によって業務もかわるのでそれぞれの専門知識、スキルが身につく、自分にとってプラスになるし、飽きるといったこともない。行政によって昇進などの制度が異なるため、それぞれの適正に合わせた業務選択が可能です。また、まじめに地道にと思う性格が適しているのではと思いました。

写真 (1~3点)



(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	酒田地区広域行政組合 消防本部
実習期間	平成 31 年 3 月 4 日 ~ 平成 31 年 3 月 8 日
学生氏名	仲道太一
実習プログラム	<p>3月4日 消防本部、平田分署</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・消防本部の概要</li><li>・予防課検査業務への同行、本部の説明</li><li>・通信司令室の説明、体験資料仕分け</li><li>・救急車、平田分署の説明、放水訓練</li></ul> <p>3月5日 消防署</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・交代、申し送り、体操、車両点検、想定訓練</li><li>・申し送り、消防隊の訓練地震想定訓練、防火衣着装</li><li>・救助訓練、ロープ結索 山岳救助、概要説明</li></ul> <p>3月6日 西分署</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・交代、申し送り、体操、車両点検、想定訓練</li><li>・申し送り、救急車の説明、救急の搬送法、石油コンビナートの関連法</li><li>・梯子車訓練、救急搬送の流れ、救助訓練</li></ul> <p>3月7日 消防署</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・交代、申し送り、体操、車両点検、想定訓練</li><li>・立入検査説明、消火器の説明動画、水利説明</li><li>・救急講習、質疑等</li></ul> <p>3月8日 消防署、本部</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・交代、申し送り、体操、車両点検、想定訓練</li><li>・車両説明</li><li>・火災防御訓練</li><li>・危険物規制、立入検査、コンビナート見学</li></ul>
学び・気づき (300字程度)	<p>今回私は、酒田地区広域行政組合消防本部にインターンシップとして行きました。主に私が今回の実習を通して学びたいと考えたことは、大きく分けて二つあります。</p> <p>一つ目は消防という業務を細かく知ることです。私は将来消防士として働くことを考えていました。消防士の仕事内容といえば火を消したり、災害時には救助にいたり、救急車をだしたりということが主な仕事だと考えていました。</p> <p>しかし実際に体験してみると、立入検査や書類の整理、地味な事務作業など一般的な会社でよく目にする光景がありました。このようなことが、火災を起こさないためには何が必要なのか毎日考え、検査を通じて市民に伝え違反がないように気を配ることで少しでも火災を減らすことに繋がると感じました。</p> <p>二つ目は現役の職員の方のやりがいや消防士として必要なことを知ることで</p>

	<p>す。多くの職員の方にやりがいを感じたところ、皆が「感謝されるのが嬉しい」と答えており、きつい現場を乗り越えて助けたときにこの職業の意義、達成感が味わえるとおもいました。</p> <p>私が今回の実習で学んだことは、消防士と言うのは、常に予防に努め、市民の安全を守るために幅広い業務をこなしている職業であることと、優しさ、視野の広さを持った人が消防士として活躍できる人ということです。</p>
<p>今後に向けた 抱負 (200字程度)</p>	<p>今回の実習では、「説明」する場面があり、上手くできずに悔しかったです。消防の方にいわれたことは、説明して相手に伝える、伝わることができないと理解しているとはいえないでした。いつもは説明してもらうことがほとんどで、受け身になってしまっていて、いざ説明しようとしてもどうやれば良いのか分かりませんでした。しかし要点を整理して何を一番伝えたいのか、ストーリーにして説明するとわかりやすいことに気づきました。これは社会に出てからも必要なことなので今回学んだことを活かしていきたい。</p>
<p>インターンシップ をして気づいた、 実習先の魅力 (300字)</p>	<p>消防のやりがいとして、直接ひとの役に立てるといことが大きな魅力であると思います。職員の方々は優しい人ばかりで来客に来られた方々から大きな信頼を得ていることが、対応の仕方を見て感じました。普段の業務から市民に頼られる消防士としての自覚を持っている職員の人達はとてまかっよく見えました。また、働いている方々はとてま生き生きしており、活気があってとてま良い雰囲気仕事をしていると感じました。このような活気がある職場で自分自身も働きたいと強く思いました。市民の命に関わる仕事で大変なことも多いと思いますが、その分大きなやりがいを感じることもできる職場だと思います。</p>
<p>写真 (1~3点)</p>	

## (別紙 12)

## 大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	酒田地区広域行政組合消防本部
実習期間	令和 元 年 9 月 13日 ～ 令和 元 年 9 月 18 日
学生氏名	菅野那憲
実習プログラム	<p>実習 1 日目 座学、消防本部の案内、通信指令課 概要説明、応急救護訓練、放水訓練</p> <p>実習 2 日目 勤務交代、車両各種点検見学、放水訓練、質疑応答、救助基本訓練、</p> <p>実習 3 日目 勤務交代、車両点検見学、救急についての説明、救急車の内部見学、救助訓練、梯子車搭乗、救急講座、応急処置、止血、心肺蘇生</p> <p>実習 4 日目 勤務交代、車両点検見学、地理水利概要説明、救急の対応体験、救急講習、</p> <p>実習 5 日目 勤務交代見学、予防課警防課概要説明、業務説明、危険物保安係勤務同行、酒田大火の記録の鑑賞</p>
学び・気づき (300 字程度)	<p>今回の企業実習で、隊員たちの仕事に対する取り組みの姿勢が一番私自身の中では印象に残りました。一般に報告、連絡、相談の“ほうれんそう”は、知られているが消防ではこれに怒らない、否定しない、助ける、支持する、という“おほたし”というものがありそれを徹底することで、二重の意味での防止に努め、意識の高さが伺えました。</p>
今後に向けた 抱負 (200 字程度)	<p>私は、将来消防士になることを目指しています。今回の 5 日間の消防での実習では自分自身に足りないスキルに気が付くことができました。私は、継続力、課題解決力、判断能力の向上を今後上げていかななくてはならないと感じました。まずは、日常の小さなことに目標を立て継続力や課題解決力をつけ、この 2 つのスキルのレベルを上げることで判断力もおのずと養われていくと考えるため努力していきたいです。</p>
インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300 字)	<p>今回、酒田地区広域行政組合消防本部で実習を行い消防士という業種について一番感じたことは、おもわず憧れてしまうということです。規律などの全体のルールを隊員全員が守り、そして仕事に対する意識の高さを感じさせる訓練を日々行っていました。また職場の隊員たちの雰囲気はよく、年齢も比較的若い隊員が多かったため話やすく、私自身も隊員の方たちと話をすると楽しかったです。</p>

写真 (1~3点)



## (別紙 12)

大学「人材育成強化科目」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	酒田地区広域行政組合消防本部
実習期間	令和 1年 9月 9日 ~ 令和 1年 9月 13日
学生氏名	川村 大樹
実習プログラム	<p>1 日目 消防本部についての概要説明、予防課・警防課についての説明、通信指令課についての概要説明、平田分署の概要説明、放水訓練、応急救護訓練</p> <p>2 日目 勤務交代見学、各種点検見学、放水訓練、救助基礎訓練</p> <p>3 日目 勤務交代見学、各種点検見学、救急についての説明、救急車見学、資機材見学、救急搬送訓練、はしご車訓練、救助機材説明</p> <p>4 日目 勤務交代見学、各種点検見学、地理水利調査等、救急講習</p> <p>5 日目 勤務交代見学、各種点検見学、予防課・警防課の説明、予防課検査業務への同行(予防課指導係)、予防課検査業務への同行(危険物保安係)、消防ビデオ鑑賞</p>
学び・気づき (300 字程度)	<p>今回のインターンシップでは、様々な消防業務について体験させていただくことが出来た。実習の前までは、消火作業や救急搬送など私たちが普段目にする仕事しか知らなかったが、実習を通して火災予防の対策など私たちが普段目にするところまで学ぶことが出来た。実習の中で特に感じたことは、積み重ねの大切さだ。消防職員は、毎日車両の点検や訓練を欠かさず行っている。そのため、いざという時にいつでも出動することが出来る。積み重ねというものは、消防職員に関わらず、どの職に就いたとしても大切である。実習中に社会に出たときに必要だと感じた「傾聴力」と「会話力」を伸ばすためにも、積み重ねを大切にしていきたいと感じた。</p>
今後に向けた 抱負 (200 字程度)	<p>今回のインターンシップでは、自身の甘さを感じた。実習中に、社会に出たときに必要になる「傾聴力」や「会話力」といったスキルを学ぶことが出来たのだが、自分の身につけていないことを色々な場面で感じた。このスキルを身につけるために、日々の学生生活を大切にしていきたい。特にグループワークに積極的に参加し、「傾聴力」「会話力」に加えて「コミュニケーション力」なども向上させていきたいと思う。</p>

インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)

5日間で消防本部・消防署・西分署の3か所で実習させていただいたが、どの消防署の方もとても気さくな方ばかりで、とてもよい雰囲気職場だと感じた。上下関係はしっかりありながらもどの方も対等に話ができるような環境で、普段からたくさん会話することで信頼を深め、協働力を高めることが出来ていると感じた。また、消防職員の方が自分の業務に責任を持ち、仕事に打ち込んでいる姿はとても印象的だった。一見地味に見える作業も声を掛け合いながら正確に行っており、責任感の強さを感じる事が出来た。休憩時間は仲が良く笑い声が飛び交っているが、仕事が始まるとスイッチを切り替え業務にあたっており、とても理想的な職場であると感じた

写真 (1~3点)



(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	酒田地区広域行政組合消防本部
実習期間	令和元年 9月 9日 ~ 令和元年 9月 13日
学生氏名	中山大智
実習プログラム	1日目 消防本部 消防本部の概要について・予防課・警防課の業務説明・通信指令課概要説明・平田分署で概要説明、放水訓練、応急救護訓練 2日目 消防署 勤務交代見学・各種点検見学・放水訓練等・救助基本訓練等 3日目 西分署 勤務交代見学・各種点検見学・救急車機材資材説明・操作訓練・はしご車訓練・救助訓練 4日目 消防署 勤務交代見学・各種点検見学・地理・水利調査等・救急講習（応急手当） 5日目 消防本部 予防課・警防課の業務体験・予防課検査業務への同行（薬王堂・東西オイルターミナル）
学び・気づき (300字程度)	訓練を見て、毎日同じ訓練ではなく、違う訓練を繰り返し行うときいて、人間なので忘れてしまうとっていたのが印象に残っている。自分の弱さを知っているからこそ何度も訓練を積み重ねていざという時に対応できるようにする。これは自分自身にも当てはまることなので、弱いところから逃げるのではなく、しっかり向き合っていくことで成長に繋がると言うことを学んだ。

<p>今後に向けた抱負 (200字程度)</p>	<p>たくさんの業務内容を見せていただき、一つの行動に意味があり、責任があるということを知った。これからの生活では一つ行動するにしても、目的を常にもってそれを持続できるようにしていきたい。時間はみんな平等に与えられているのだからいかに無駄をなくして多くを学ぶかということ意識していきたい。</p>
------------------------------	--

<p>インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)</p>	<p>実習先に行くまでは、消防と言われると消火のイメージがあったが、業務内容が幅広いことが分かった。すべての業務に共通しているのが、人の命に関わる仕事をしているということ、重い責任があるからこそ訓練や業務を丁寧にかつ常に本気で取り組んでいることが伝わってきた。隊員たちは一緒にいる時間が長いのでコミュニケーションを大事にしていることが分かった。人には向き不向きがあるので補いながら働いている印象が強かった。</p>
--	---

<p>写真 (1~3点)</p>	 <p>The left photograph shows three individuals in a room, focused on handling a large, white, patterned bag or tarp. One person is wearing a blue cap and another a dark jacket. The right photograph shows a red fire truck with its aerial platform extended high into the sky. Two people are visible in the basket of the platform. The background shows a building and a clear sky.</p>
------------------	---

## (別紙12)

## 大学「人材育成強化科目」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	酒田地区広域行政組合消防本部
実習期間	令和2年3月2日 ～ 令和2年3月6日
学生氏名	渡部友樹
実習プログラム	<p>3月2日（場所：消防本部） 消防本部概要説明。宮野浦小学校変電所検査。各課案内、DVD鑑賞。消防士試験内容説明。通信指令課内容説明。消防器具体験、応急救護体験、救急車の車内体験。</p> <p>3月3日（場所：消防署） 消防車点検見学。防火服着用訓練、ホース訓練。放水訓練。消防車資機材説明。ロープの結び方。救助訓練。</p> <p>3月4日（場所：西分署） 消防車点検見学。はしご車訓練。救急車資機材説明、担架運搬体験。救助・綱渡り訓練。救助資材説明。</p> <p>3月5日（場所：消防署） 消防車点検見学。水利調査。防火水槽見学。大型水槽車、化学車、指揮者見学。救助小型船・ボート、ドローン説明。救助基本訓練説明。応急手当説明。</p> <p>3月6日（消防本部） 予防課検査業務同行（平田タウンセンター）。予防課講話。危険物立入検査。火災に関する講話、DVD鑑賞。</p>
学び・気づき (300字程度)	<p>今回のインターンシップで、消防士とは現場に行き消火・救助活動する仕事だけでなく、119番通報を受信し消防署・分署に指令を出す通信指令課や、予防課、危険物保安課など火事や災害などを未然に防ぐ仕事にも従事していることを学んだ。放水訓練やはしご車訓練なども経験してみたが、放水される水の勢いに圧倒されたり、はしご車は高所による恐怖感が常について回るなど、消防署は体力や筋力、そして精神力が求められる職種だと思った。また消防士は資材の一つ一つにも念入りに点検を行っており、これは緊急指令に対応するためだと知った。実際に実習中にも119番通報が来たり、緊急指令は本当にいつ来るか予測できないから、常に万全の体制を整えているのだと感じた。</p>
今後に向けた抱負 (200字程度)	<p>この5日間で、消防活動訓練や消防機材などを見学・体験できた。だが言われたことをただ淡々とこなすだけでなく、自分の中で疑問や興味を抱きながら積極的に取り組めば、学べる知識ももっと深められると思った。これからは自分から行動を起こし、授業だけでなく課外活動、ボランティア、資格取得などを積極的に頑張っていきたい。</p>

インターンシップ をして気づいた、 実習先の魅力 (300字)	実習先の魅力は、1つ目は職場の労働環境がとても良いこと。消防組織とはもっと上下関係があるものだと思っていたが、予想以上に皆平等というイメージでストレス無く仕事をこなしており、実習生の私達にもこまめな休憩を取らせてもらったり、危険な訓練は無理をしなくてもいいと言ってくれたりなど親切に且つ丁寧に対応してもらって、人柄の良さが感じ取れた。二つ目はハラスメントに厳しいこと。近年問題視されているハラスメント問題に対して、消防組織の間ではハラスメントは許さないことをスローガンに掲げていて、より良好な職場環境にしようとする心掛けが強く伝わってきた。
写真 (1~3点)	

## (別紙 12)

## 大学「人材育成強化科目」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください(様式は自由です)。

実習企業・機関	酒田地区広域行政組合消防本部
実習期間	令和2年3月2日 ～ 令和2年3月6日
学生氏名	菅 大晟
実習プログラム	<p>一日目:消防本部・通信指令課概要説明、検査同行、ビデオ鑑賞、応急救護訓練</p> <p>二日目:車両点検・出動訓練見学、防火衣・空気呼吸器着用、ホース延長・放水訓練、車両・油圧機材説明、ロープ結び</p> <p>三日目:車両点検・出動訓練見学、はしご車訓練、救急車説明、救助訓練</p> <p>四日目:車両点検、消火栓・貯水槽点検、各種点検、救助訓練・応急手当講座</p> <p>五日目:予防課(予防指導係・危険物保安係)立入検査、ビデオ鑑賞</p>
学び・気づき (300字程度)	<p>五日目を通して、実習期間中の指導者の方の話を聞く限り、消防士という職業はやりがいがとても感じることが分かった。消火や救助、救急以外の業務は、現場から離れデスクワークや設備の点検といった作業で、自分がイメージできてないことが多くあった。その単純と感じた作業の繰り返し、私たちの安全や消防士の方が常に言っていた防災に繋がるのだという事が分かった。</p>
今後に向けた 抱負 (200字程度)	<p>今回学んだ積み重ねが大切だという事を、二年に上がってからの学生生活に活かしていく。そのために、授業では自分の意見をしっかり持ち周りに伝えること、周囲の意見をしっかり聞くなど、自分の意思をしっかりと意識していく。また、公務員試験を乗り切ったので、少しずつ教材など使って対策をしていくこと、体力付けなど出来ることから継続をモットーに頑張る。</p>
インターンシップをして 気づいた、実習先の魅力 (300字)	<p>実習先であった消防本部、お世話になった本署や西分署の方々はとても人当たりがよく実習していてとても楽しかった。署員同士の仲もよさそうに見え、雰囲気がいいと感じた。また、私たちが受け身になって指導を聞くだけでなく、考える時間を設けてくれるなど能動的に実習に参加できるようにしてくれた。ちょっとした疑問や消防機材の説明など、全て分かりやすく説明など対応してくれて、人間性がいいと感じた。</p>

写真(1~3点)



(別紙 12)

大学「人材育成強化科目」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	酒田地区広域行政組合消防本部
実習期間	令和 2年3月2日 ～ 令和 2年3月6日
学生氏名	佐々木陸
実習プログラム	<p>3/2 概要説明、検査同行、各課案内・PV 拝見 通信指令課概要説明、応急救護訓練</p> <p>3/3 車両点検・出動訓練、防火衣着用・ホース延長 ホースカー使用・放水体験、車両説明・油圧機器操作 ロープの結び方、救助訓練</p> <p>3/4 車両点検・出動訓練、梯子車乗車、救急車見学・体験 救助訓練</p> <p>3/5 車両点検、水利調査（消火栓） 水利調査（防火水槽）・車両見学、救助艇、ドローン説明 救助基本訓練説明、応急手当講座</p> <p>3/6 立入検査（予防指導課）、予防課の説明 立入検査（危険物保安係）、統計説明・酒田大火 DVD 拝見</p>
学び・気づき (300字程度)	<p>どの場所でもどの部署でも、点検や整備を毎日行っており、いつでも出動できるようにしていると感じた。</p> <p>放水や渡過（ロープを渡る）の体験をしたが、改めて消防士の方の努力の量を実感できた。放水の水圧は簡単には抑えることができず、ものすごい神経を使った。また、渡過では全くスピードがでず、まっすぐ進むことも難しかった。消防士の方は日々努力し今の姿があると思い、繰り返し努力することの大切さを学んだ。</p> <p>何度か出動の様子を見たが、1分1秒でも早く出動しようとしていると感じられた。防火衣を来て、どこに行くかやどこを通るかを確認し出動するこの流れはかっこよく、私が目指している消防士像だった。他人のためにあんなに真剣になるのには、公益的な精神を持っていてはいけないと感じたので、大学生活中の講義や、ボランティア活動に積極的に参加することで、公益的な精神を身につけていく必要があると感じた。</p>

<p>今後に向けた 抱負 (200字程度)</p>	<p>今まで知らなかった業務の存在やそれに望む姿勢、そして消防士の方の努力の量を実感できた。毎日私達の安全を守るために、繰り返し努力し、今の消防士の方々の姿があると感じた。消防士の方々は、日々努力していたし、「毎日必死に勉強した」といっていた。将来消防士になるために、今から筋力や体力を付けられるように日々努力して行きたい。また、公務員試験に向けた勉強はもちろん、大学の授業の勉強も毎日行い、繰り返し努力する癖をつけていきたい。そして、私が生まれた故郷を守れる消防士になれるよう努力して行きたい。</p>
<p>インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)</p>	<p>消防本部、消防署、西分署の3つの場所に行ったが、どの場所の方もどの部署の方も、人を救える仕事、安全を守る仕事に誇りを持っていた。胸を張ってできる仕事だと感じた。また、ロープの結び方や消化器具の使い方、応急救護の仕方など日常や、万が一の状況で使える技術を学べるのも魅力だと感じた。</p> <p>将来私が働くことができれば、休みが多めに取れるのも魅力だと感じた。</p>
<p>写真 (1~3点)</p>	